

## 津田 学（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) Sato-Miyata Y, Muramatsu K, Funakoshi M, Tsuda M, Aigaki T. Overexpression of *dilp2* causes nutrient-dependent semi-lethality in *Drosophila*. **Frontiers Research Topic Ebook** The Coming of Age of Insulin- Signalling in Insects ISBN: 978-2-88919-314-1

### 4 学会等での活動

- 1) 日本分子生物学会
- 2) 日本ショウジョウバエ 研究会

### 6 学内教育活動

- 1) 生物学概論
- 2) 細胞生物学
- 3) 生物学基礎実験（栄養学科）
- 4) 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 5) 分子生物学
- 6) 文献検索とクリティーク
- 7) バイオテクノロジー基礎実験

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員会委員
- 2) 学科長会議委員
- 3) 学長補佐会議委員
- 4) 教育研究審議会委員
- 5) 合同会議（役員会・経営審議会・教育研究審議会）委員
- 6) COI 委員会委員
- 7) 第2次将来構想委員会
- 8) 地域貢献研究センター運営会議委員
- 9) 人総学科内専任教授会議長
- 10) 人総学科会議議長

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) ショウジョウバエを用いたアマゾン原産果物ガラナによるメチル水銀耐性機構の解析 科学研究費助成事業 基盤研究（C） 津田学（代表） 1,100千円

## 金 龍 哲（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

共著（2020）『教科とその本質-各教科は何を目指し、どのように構成するのか』  
（日本教科教育学会編、教育出版社、2020年2月）。

### 2 学術論文

- 1) 金龍哲.中国西南における文化的多様性と少数民族の信仰体系の現状.中国四国教育学会.教育学研究紀要（CD-ROM版）2019；65：pp.309-314.
- 2) 金龍哲.母系社会において表象される男女の役割分担と社会的地位—モン人の語る“女たちの天下、男たちの天国”は果たして可能か.日本臨床内科医会.日本臨床内科医会会誌 2019；34：p.41.
- 3) 二宮皓、新井浅浩、長島啓記、渡邊あや、鴨川明子、金龍哲等.海外の教科書制度等に関する研究調査報告書.海外教科書制度調査研究委員会.日本教科書研究センター 2019；pp89-96.
- 4) 金龍哲.新たなコミュニティの形成を目指す学生地域居住支援事業—地域キャンパス化の視点とその可能性を探る.都市住宅学 2019；106：pp.29-33.
- 5) 城川美佳、大島憲子、小河原格也、畑中高子、山本妙子、生田倫子、杉山みち子、金龍哲.保健・医療・福祉分野の大学生における地域貢献活動への参加状況と同活動参加への支援ニーズ.神奈川保健福祉大学誌 2019；17：pp.129-138.

### 4 学会等での活動

- 1) 金龍哲.伝統文化の伝承をめぐる形式陶冶論的解釈と仮説—八丈島での危機言語調査を踏まえて.中日教育研究協会 2019年度研究大会（2019年4月21日）
- 2) 金龍哲.「大師」の誕生—チベット族の村に生き延びたプミ族ハングイの家系日本文化人類学会第52回研究大会（東北大学 2019年6月2日）
- 3) 金龍哲.母が歌い、娘が舞う—半島の少女たちが受け継ぐ伝統文化の保護と継承に関する調査.東アジア日本学研究学会（韓国・新羅大学校 2019年9月21日）
- 4) 金龍哲.「学校」で養成された宗教的職能者の現状—「ハングイ文化学校」卒業生の調査を中心に.アジア教育学会第14回研究大会（名古屋市立大学 2019年11月2日）
- 5) 金龍哲.中国西南における文化的多様性と少数民族の信仰体系の現状—土着信仰の宗教的職能者の後継者問題を中心に.中国四国教育学会（松山大学 2019年11月30日）
- 6) 金龍哲.周辺化された文化の保護と伝承—プミ族の試みが示唆する“第三の道”の可能性.神奈川県立保健福祉大学研究発表会（2019年7月3日）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 中日教育研究協会 理事・会長
- 2) 東アジア日本学研究学会 常任理事・企画委員
- 3) 『中日教育論壇』編集委員
- 4) 21世紀日本教育研究叢書編集委員会 副編集長

## 6 学内教育活動

### 1) 学部担当科目

教育原論、現代教職論、教職総合演習、教職実践演習、中国語（応用）

### 2) 実践教育センター

教育本質論（看護・介護教員養成コース）

教育原理（看護実習指導者養成教育コース）

教育原理（介護実習指導者養成教育コース）

ヒューマンサービス論

### 3) 大学院

ヒューマンサービス特論（SHI）

ヒューマンサービス特論（保健福祉学研究科前期課程）

対人援助特論（保健福祉学研究科博士課程）

保健福祉人材育成論（保健福祉学研究科博士課程）

## 7 学内各種委員会活動

1) 地域貢献研究センター長

2) 教育研究審議会委員

3) 図書委員会委員

4) 研究助成専門部会委員

5) 教員免許更新講習会運営委員

6) 自己評価委員会委員

7) イノベーション政策研究センター運営委員

8) 将来構想検討会議委員

9) ボランティアセンター顧問、UDKS 顧問、社会人学生会顧問、

10) 神奈川県立保健福祉大学同窓会顧問

## 8 社会貢献

1) 教員免許更新講習会講師（2008～）

2) 神奈川県薬剤師現職教育外部評価委員会副委員長（2017～）

3) 日本教科書研究センター特別研究員（2016～）

4) 海外教科書制度調査会委員（2018～）

5) 昭和大学保健医療学部客員教授（2019年～）

## 9 講演、放送

1) 金龍哲.比較国際教育学の視点から見た日本の教育の特質—公教育を形作る文化・思想的背景とは何か.中国校長訪日研修団研修会（東京、2019年12月7日）

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 科学研究費補助金「中国西南における少数民族の文化伝承の実践に伴う教育のシステム変容に関する研究」【研究代表者：金龍哲 2018—2020年】

#### 14 その他

- 1) 科研「中国西南における少数民族の文化伝承の実践に伴う教育のシステム変容に関する研究」の一環として、中国雲南省、四川省、貴州省において現地調査を実施。

## 関 勝

### 1 著書

- 1) 関 勝. リハビリテーション医学 (第4版・第6刷). 医歯薬出版, 東京、2019
- 2) 関 勝. M2Plus 電子書籍版・パーキンソン病・実践診療マニュアル第2版.  
(<http://www.ebookstore.m2plus.com/>) 中外医学社, 東京、2019
- 3) 関 勝. リハビリテーション概論 (第1版・第1刷). 南江堂, 東京、2020、in press

### 2 学術論文

- 1) Takahashi H, Maruyama H, Makita S, Uchida R, Takahashi N, Seki M.  
The Effect of Nordic Pole Walking for Chronic Stroke Hemiplegia. The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2019
- 2) Takahashi H, Seki M. Evaluation for Quality of Life (QOL). The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 56, 2019

### 4 学会等での活動

- 1) 13<sup>th</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) World Congress ; CVD session; presentation and discussion (2019)
- 2) 18<sup>th</sup> ICME (institute of complex medical engineering) Council Meeting (2019)
- 3) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 2019 年度代議員総会, 神戸
- 4) 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2019), 神戸
- 5) 公益社団法人日本リハビリテーション秋季医学会 2019 年度代議員, 静岡
- 6) 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (神戸) プログラム委員 (2019)
- 7) 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (神戸) 演題査読委員 (2019)
- 8) 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (京都) プログラム委員 (2020)
- 9) 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (京都) 演題査読委員 (2020)
- 10) 第 72 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会 (2020), 埼玉
- 11) 第 18 回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2019), 神奈川
- 12) 第 19 回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2020), 神奈川
- 13) 第 87 回神奈川リハビリテーション研究会・主催幹事 (2019), 神奈川
- 14) 第 88 回神奈川リハビリテーション研究会・幹事 (2020), 神奈川
- 15) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医・特別試験委員 (2020), 東京

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) JISPRM(The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine) potential Editorial Reviewer (2019 年度新任)
- 2) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 3) ICME (institute of complex medical engineering) councilor (2020 年度再選)
- 4) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer

- 5) JJCRS: Editorial Board
- 6) 厚生労働省（公益財団法人柔道整復研修試験財団）国家試験委員会・幹事委員（柔道整復師）（2019年度新任）
- 7) 厚生労働省（公益財団法人社会福祉振興試験センター）国家試験委員会委員（介護福祉士）（2019年度新任）
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員（2020年度再選）
- 9) 第56・57回日本リハビリテーション医学会学術集会委員（プログラム・査読等）
- 10) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 11) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 12) 慶應義塾大学医学部・慶應医学会オフィシャルメンバー
- 13) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学 SIG メンバー
- 14) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・脊髄障害 SIG メンバー
- 15) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

## 6 学内教育活動

- 1) 2019年度全担当科目講義視聴覚教材製作・科目責任者等

以下全担当科目

- （看護）疾病と治療Ⅰ
- 疾病と治療Ⅱ
- 疾病と治療Ⅲ
- 病態治療学
- （栄養）臨床医学概論
- （社福）リハビリテーション論
- （リハ）リハビリテーション概論
- リハビリテーション医学
- 神経内科学
- 脳神経外科学
- 整形外科学Ⅰ
- 整形外科学Ⅱ
- 一般臨床医学
- 人間発達学

- 2) 学部卒業論文研究発表会出席（質疑応答・総評等）

## 7 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD委員会委員
- 2) 教員選考委員会委員
- 3) 入学試験（推薦帰国社会人・センター・前期および後期入試）面接・業務委員
- 4) 2019年度津波火災避難訓練時講義・実地誘導等実施
- 5) 教授会構成員
- 6) 各種FD講演参加

- 7) 研究倫理コンプライアンス教育研修実施
- 8) 教員昇任審査学科内委員会委員
- 9) 学科専任教授会構成員・学科会議構成員・書記
- 10) その他学事等関連会議等

## 8 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師（スポーツマネジメント専攻）
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会代議員
- 3) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医認定試験委員会特別委員
- 5) 地域リハビリテーション連絡会世話人
- 6) 三浦半島リウマチ懇話会理事
- 7) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 8) 公益財団法人横浜 YMCA 学院作業療法学科非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 9) 学校法人日本医療科学大学保健医療学部非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 10) 学校法人日本福祉教育専門学校言語聴覚療法科非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 11) 慶應義塾大学および大学院・その他国公立大学・病院・医院との研究連携

## 9 講演、放送

- 1) 教育講演（専門医・臨床認定医）；「QOL～その概念と評価」， 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会， 2019， 静岡

## 13 特許など

- 1) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医資格更新
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・認定臨床医資格更新

## 生田 倫子(大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 「ソリューション・フォーカスト・アプローチ：家族心理学ハンドブック」2019年1月,金子書房
- 2) 「1章家族心理学とは：家族心理学理論・研究・実践」分担翻訳,2019年9月,遠見書房

### 2 学術論文

- 1) 「保健・医療・福祉分野の大学生における地域貢献活動への参加状況と同活動参加への支援ニーズ」2019年11月,神奈川県立保健福祉大学誌第17巻第1号 pp.129-138 . 査読有. 2020.3

### 4 学会等での活動

- 1) 「ブリーフセラピーにおける資格雇用について」2019年6月,日本心理臨床学会第38回大会,パシフィコ横浜.
- 2) 「多世代家族の臨床と研究」日本家族心理学会第36回大会,2019年9月,岩手大学.
- 3) 「ブリーフセラピー・コンサルテーション」日本ブリーフセラピー協会第11回学会議,2019年11月,東北大学.

### 5 学会,協会,公的団体の委員など

- 1) 日本心理臨床学会,広報誌編集委員,  
広報編集委員として,学会の広報業務を行っている. 2012年12月～現在
- 2) 日本心理臨床学会,支援活動委員,  
支援活動委員として,震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている. 2013年12月～現在
- 3) 日本家族心理学会,常任理事,編集委員.  
常任理事会に年7回出席し,学会運営業務を行っている. 2007年6月～現在
- 4) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会,事務局長,常任理事.)  
事務局長として,学会の運営業務を行っている. 2011年8月～現在
- 5) 日本ブリーフセラピー協会,常任理事.  
常任理事会に,年6回出席し,学会運営業務を行っている. 2007年4月～現在
- 6) 日本家族相談士・家族心理士資格認定機構理事  
理事会に年5回出席し,運営業務を行っている. 2015年4月～現在

### 6 学内教育活動

- 1) 学部  
心理学,教育心理学,発達心理学,人間発達学,ボランティア市民活動論,文献検索とク



リテイク, 教職実践演習(養護教諭), 総合演習(養護教諭), 保健医療福祉論Ⅰ, ヒューマンサービス論

## 2) 大学院

コンサルテーション論(博士前期課程)

対人援助特論(博士後期課程)の講義

博士後期課程院生の副指導教員

## 3) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程(看護・介護)『教育心理』

子ども支援課程『相談援助の基本と実際』

## 4) その他

国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問

ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問

チューター業務

博士課程後期副査

## 7 学内各種委員会活動

1) 教員免許状更新講習運営会議委員

2) 広報委員会委員

3) 研究科運営委員会委員

4) ヒューマンサービス研究会世話人代表

5) オープンキャンパスの人間総合ブースのマネジメント

## 8 社会貢献

1) 内閣府青少年インターネット環境整備企画分析委員会委員

2) 横浜市教育委員会いじめ重大事態調査専門委員

3) 横浜市教育委員会学校課題解決支援事業専門家

4) 神奈川大学非常勤講師『学校臨床心理学特論』

5) 北海道医療大学非常勤講師『心理支援に関する理論と実践』『家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践』

6) 社会福祉法人児童養護施設手まり学園 研修・スーパーヴァイズ・コンサルテーション

## 9 講演, 放送

1) 海上保安庁第三管区海上保安本部 メンタルヘルス講習会 講師

2) 海上保安庁第三管区保安本部・横浜海上保安部・横須賀海上保安部 メンタルヘルス研修、セクハラ・パワハラ講習会 講師

3) 東京都特別区職員研修所事業 「中堅保育士」講師

4) 横浜市金沢区/座間市保健センター保健師向け研修講師

5) 名古屋市教育委員会スクールカウンセラー研修会講師

6) 平成30年度県立学校保健春季研修会講演

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29-平成 31 年度（記載は通知書の通り）科学研究費補助金基盤研究（C）問題解決力を持つ家族システムの解明－統合情報理論の家族システム理論への応用－【研究分担者】
- 2) 平成 30-32 年度（記載は通知書の通り）科学研究費補助金基盤研究（C） 相談者ニーズに沿った包括的効果尺度を用いた効果的な心理療法のモデル化に関する研究【研究分担者】

## 木村 芳滋（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会等での活動

- 1) ALC19(12th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices 19) 2019年10月20日～25日京都みやこめっせ, バイオマテリアルセッション幹事.
- 2) ISO/TC201(国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会)総会, つくば(国際標準化機構・表面化学分析技術委員会) 2019年10月31日
- 3) 日本解剖学会
- 4) 日本生理学会
- 5) 日本分子生物学会
- 6) 日本細胞生物学会
- 7) 日本医用マスペクトル学会

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本医用マスペクトル学会評議員
- 2) ISO/TC201 WG4(国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 主査
- 3) 日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会 委員

### 6 学内教育活動

- 1) 解剖学 I, 解剖学 II (リハビリテーション学科)
- 2) 解剖学実習 I, 解剖学実習 II (リハビリテーション学科)
- 3) 体のしくみ I, 体のしくみ II (看護学科)
- 4) 人体構造学, 人体構造学実験 (栄養学科)
- 5) 解剖学 (社会福祉学科) 特別聴講生受入 1名 「解剖学」

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会委員 (自己評価専門部会委員)
- 2) 大学院入試委員会委員 (自己評価専門部会委員)

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究) 「量分析イメージング法(IMS)に適した細胞・組織特異的マーキングシステムの構築」 配分額: 552,600円.

### 14 その他

- 1) 死体解剖資格認定取得第 9536 号.
- 2) 国際共同研究  
Abdullah Gül 大学 (トルコ) Oktay Kaplan 博士 「線虫の細胞内輸送解析」  
アイルランド国立大 Oliver Blacque 准教授 「線虫のチューブリン翻訳後制御解析」

コロンビア大学(米国)Martin Chalfie 教授 「線虫運動ニューロンの IMS 解析」

3) 国内共同研究

浜松医科大学 瀬藤光利教授 「線虫の質量分析イメージング」

成蹊大学理工学部 青柳里果教授 「線虫の TOF-SIMS 解析」

東京大学薬学部 浦野泰照教授 「線虫 IMS 解析に用いるマーカーの開発」

アルバックファイ株式会社 「高解像度質量分析イメージングによる線虫 *C.エレガンス* の細胞構造解析」

## 志村 華絵

### 4 学会等での活動

- 1) 第 81 回 日本血液学会学術集会総会 PS3-8-5 去勢抵抗性前立腺がんに対する放射線療法により軽快した脾辺縁帯リンパ腫 2019/10/13
- 2) 日本世代間交流学会第 10 回大会 P-3 高齢者と子供の交流が両者の心身に与える効果－施設へのアンケート調査結果を中心に－ 2019/10/6

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 米国内科学会(American College of Physicians; ACP)日本支部 Public Relations Committee 委員
- 2) 日本内科学会 資格認定試験(認定内科医・総合内科専門医)病歴評価委員

### 6 学内教育活動

- 1) 2019年度全担当科目講義教材製作・科目責任者担当科目  
(全学) ヒューマンサービス論 I, ヒューマンサービス総合演習 (発表会総評)  
(看護) 疾病と治療 I  
(社福) 人体の構造と機能および疾病  
(リハ) 内科学 I, 内科学 II, 生理学 I, 生理学実習
- 2) 2019年度国家試験講座講師：社会福祉学科 国家試験対策・受験対策講座講師担当

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員 副委員長
- 2) 進路支援ワーキング 自己評価委員

### 8 社会貢献

- 1) 湘南慶育病院 非常勤医師 総合内科外来診療(週 1 回)
- 2) 昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 非常勤講師(内科学)

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 「幼老複合施設における世代間交流が高齢者に与える医学的効果の検討」文部科学省科学研究費 若手研究(小区分 52010:内科学一般関連)(2018-2020)  
本年は神奈川県の「幼稚園・保育所等における子どもを通じた認知症未病改善事業」参加者に対する質問紙調査を行った。県職員と 11 回に分け事業に同行し、合計約 300 名に調査を行った。

### 13 特許など

- 1) 日本内科学会総合内科専門医更新(2019)
- 2) 日本内科学会内科認定医更新(2019)

3) 日本医師会認定産業医更新(2019)

## 福田 平（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 長浜 尚史、松本 晃裕、福田 平：「エリート駅伝選手を対象としたトレッドミル漸増運動負荷試験のプロトコル開発」、*亜細亜大学学術文化紀要*35：95-111，2019。

### 3 その他の著作

- 1) 福田 平、中島 敏明：「高齢者における生活習慣病関連調査、血液検査、体組成検査－女性健常高齢者における GDF-15 とサルコペニア、腎機能障害との関連－」、*神奈川県立保健福祉大学 高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究令和元年度報告書*：27-30，2020。

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会（認定医・総合内科専門医）
- 2) 日本循環器学会（専門医）
- 3) 日本心臓リハビリテーション学会（心臓リハビリテーション指導士）
- 4) 日本体力医学会
- 5) 日本臨床スポーツ医学会

### 6 学内教育活動

- 1) 臨床医学概論
- 2) 感染症学
- 3) 病理学
- 4) 病理学概論
- 5) 病態生理学
- 6) 文献検索とクリティーク

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会委員
- 2) 時間割編成ワーキング委員
- 3) 実習センター運営委員会委員

### 8 社会貢献

- 1) 十文字学園女子大学非常勤講師（安全救急法演習）
- 2) 獨協医科大学との共同研究

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 基盤研究（C）、サッカー中の心拍出量の測定と GPS 位置情報で測定した試合中の走能力との関連の解明、松本 晃裕，福田 平，長浜 尚史，石

山 隆之、4,290,000 円（配分額 200,000 円）（2019 年 4 月-2022 年 3 月）。

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A（協働研究）助成金、高齢者における疫学的健康調査、福田 平，松尾 祐子，五味 郁子，渡部 月子、815,539 円（2019 年 4 月-2020 年 3 月）。



## 松尾 祐子

### 2 学術論文

- 1) Kenichi Uchida, Hiroyuki Hashidate, Kenichi Sugawara, Tomoe Nakata, Chihiro Kurosawa, Yukiyo Minamimura, Yuko Matsuo, Mitsunobu Yatsunami.  
Unsupervised low-intensity home exercises as an effective intervention for improving physical activity and physical capacity in the community-dwelling elderly. J. Phys. Ther. Sci. 2020; 32: 215–222.1

### 3 その他の著作

- 1) 松尾祐子. 平地歩行パターンと 10m 障害物歩行時間について. 令和元年度 高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究 報告書. 2020 : 31–34
- 2) 岩崎俊晴、松尾祐子. 運動習慣のある高齢者における内臓脂肪、甲状腺ホルモンとメタボリック症候群及びサルコペニア関連指標との関連 1.運動習慣のある高齢者における内臓脂肪の実態調査 2.運動習慣のある高齢者における甲状腺機能と内臓脂肪及び、メタボリック症候群関連指標との関連 3.サルコペニア肥満の早期発見のための指標について. 和元年度 高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究報告書. 2020 : 23–26

### 6 学内教育活動

- 1) 体のしくみ I (看護学科 1年 前期)
- 2) 生体機能学 (栄養学科 1年 後期)
- 3) 生理学 II (リハビリテーション学科 1年 後期)
- 4) 文献検索とクリティーク (リハビリテーション学科 1年 後期)
- 5) 生理学実習 (リハビリテーション学科 2年 前期)
- 6) 生体機能学実験 (栄養学科 2年 前期)
- 7) 保健医療福祉論 I (全学科 1年 前期)
- 8) 心電図デモ実習 (看護学科 1年 後期)
- 9) 解剖見学実習 (看護学科 1年 後期)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 人権倫理委員会 (通年)
- 2) 教務委員会 (通年)

### 8 社会貢献

- 1) ボランティアコンサート (介護老人保健施設 千の星よこはま R1.12)

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 福田平、松尾祐子、五味郁子、渡部月子. 高齢者における疫学的健康調査. 平成 31

度神奈川県立保健福祉大学研究助成 A（協働研究）；815,539 円

9 講演，放送

- 1) ヒューマンサービス公開講座，「人生 100 歳時代をどう生きる？」，神奈川県立保健福祉大学，2019.10.5.

## 城川 美佳（大学院保健福祉研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 後藤孝也, 城川美佳 (2019). 第4章疾病の原因の特定. 杉森裕樹, 中山健夫, 小橋元監訳, 読んでわかる! 疫学入門 (pp.37-52). Saracchi, R. (2010). *Epidemiology; a Very Short Introduction*. 東京, 大修館書店.
- 2) 城川美佳 (2020). 第2章4健康関連行動. 第3章2思春期・青年期. 第3章4高齢期. 第4章4ノーマライゼーション. トピックス2臓器移植. 3海外渡航にかかわる問題. 4安楽死. 5ドメスティック・バイオレンス, 児童虐待. 成和子, 宮本慶子, 城川美佳編著, 四訂ライフスキルのための健康科学 (pp45-52, 71-76, 84-91, 116-120, 126-131). 東京, 建帛社. 152p

### 2 学術論文

- 1) Kigawa, M., Tsuchida, A., Miura, K., Ito, M., Tanaka, T., Hamazaki, K., Adachi, Y., Saito, S., Origasa, H., Inadera, H., Japan Environment and Children's Study (JECS) (2019). Analysis of non-respondent pregnant women who were registered in the Japan Environment and Children's Study: a longitudinal cohort study. *BMJ Open*, 9, e025562, doi: 10.1136/bmjopen-2018-025562
- 2) Nose-Ogura, S., Yoshino, O., Dohi, M., Kigawa, M., Harada, M., Hiraike, O., Onda, T., Osuga, Y., Fujii, T., Saito, S. (2019). Risk factors of stress fractures due to the female athlete triad: Differences in teens and twenties. *the Scandinavian Journal of Medicine and Science in Sports*, 29(10), 1501-1510, doi:10.1111/sms.13464
- 3) Murakami, J., Arita, K., Wada, A., Mihara, H., Origasa, H., Kigawa, M., Yasuda, I., Sato, T. (2019). Serum soluble interleukin-2 receptor levels for screening for malignant lymphomas and differential diagnosis from other conditions. *Molecular and clinical oncology*, 11, 474-82, doi:org/10.3892/mco.2019.1922
- 4) Kigawa, M., Tsuchida, A., Matsumura, K., Takamori, A., Ito, M., Tanaka, T., Hamazaki, K., Adachi, Y., Saito, S., Origasa, H., Inadera, H., The Japan Environment and Children's Study (JECS) Group (2019). Factors of non-responsive or lost-to-follow-up Japanese mothers during the first year post partum following the Japan Environment and Children's Study: a longitudinal cohort study. *BMC Open*, 9, e031222, doi:10.1136/bmjopen-2019-031222
- 5) 城川美佳, 大島憲子, 小河原格也, 畑中高子, 山本妙子, 生田倫子, 杉山みち子, 金龍哲. (2020). 保健・医療・福祉分野の大学生における地域貢献活動への参加状況と同活動参加への支援ニーズ. *神奈川県立保健福祉大学誌*, 17 (1), 129-138
- 6) Gopali, R.S., Maharjan, B., Kigawa, M. (2020). Expert Consensus on the Essential Preventive Knowledge of Tuberculosis for High School Students, Kathmandu, Nepal. *Biomedical Journal of Scientific & Technical Research*, 26(2), 19849-19857, doi:10.26717/BJSTR.2020.26.004332

- 7) 城川美佳, Gopali, R.S., Maharjan, B. (2020). ネパール都市部における学校での結核予防教育～Delphi Method による教育項目の検討～. ヒューマンサービス研究, 19, 33-34

#### 4 学会等での活動

- 1) 土田暁子, 高見美緒, 川上ちひろ, 城川美佳, 浜崎景, 稲寺秀邦, 伊藤秀一 (2019.10.). 妊娠中の身体活動が早産および分娩様式に与える影響～エコチル調査より～. 第 78 回日本公衆衛生学会, 高知市
- 2) 城川美佳, Gopali, R.S., Maharjan, B. (2019.11.). ネパール都市部における学校での結核予防教育に必要な項目 –Delphi method による検討–. 第 84 回日本健康学会総会, 長崎市
- 3) 城川美佳 (2019.12.). 外国にルーツを持つ子どもと学校給食. 日本学校保健学会第 66 回学術大会, 東京都
- 4) 城川美佳, Gopali, R.S., Maharjan, B. (2020.1.). ネパール都市部における学校での結核予防教育 –Delphi method による教育項目の検討. 第 17 回ヒューマン・サービス研究会, 横須賀市
- 5) 城川美佳, 土田暁子, 浜崎景, 稲寺秀邦 (2020.3.). コホート調査に参加同意した妊婦におけるベースライン調査の未回収に関連する要因: エコチル調査. 第 90 回日本衛生学会学術総会, 盛岡市(誌上发表)

#### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生学会 代議員 (通年)
- 2) 日本健康学会 評議員 (通年), 編集委員 (通年)
- 3) 国際学校保健コンソーシアム 事務局委員 (通年)
- 4) NPO 訪問看護ステーションコスモス 理事 (通年)

#### 6 学内教育活動

- 1) 統計学におけるグループワークのための資料作成
- 2) 疫学・社会調査におけるグループワークのための資料作成
- 3) 公衆衛生学におけるグループワークのための資料作成

#### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会 委員 (通年)
- 2) 地域貢献研究センター 研究支援部門 部門員 (通年)

#### 8 社会貢献

- 1) 神奈川県立横須賀高校の Super Science High school 事業において, 高校 1 年生のグループに対する研究指導を行った. (通年)
- 2) 東京都台東区山谷地域で開催された路上生活者を対象とした健康相談会にボランティアとして参加した. (通年)

- 3) 神奈川県東部で開催された滞日外国人を対象とした健康相談会にボランティアとして参加した。(通年)

## 9 講演, 放送

- 1) 城川美佳. 健康と多文化共生—出身地が違うことと健康を守ること—. 科学夜話. 2019.6.7., 横浜市: 在住外国人の方々の日本で生活する上で生じる健康課題について、講演した.

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 城川美佳, 「ケイパビリティ (潜在能力) の保障のためのアジアの就学前児の発育発達評価方法の開発」, 平成 31 年度科学研究費補助金挑戦的研究 (萌芽) 研究代表者: 友川幸, 300,000 円, 平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月
- 2) 城川美佳, 「後開発途上国の ECD における健康増進活動の可能性と課題: 人間の安全保障の観点から」, 平成 31 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究代表者: 三宅公洋, 120,000 円, 平成 31 年 4 月～令和 4 年 3 月
- 3) 城川美佳, 「日本を母国としない女性を対象とした、妊娠から育児における、ヘルスリテラシーに基づいた情報提供のあり方」, 神奈川県公衆衛生協会平成 31 年度調査研究助成金交付対象研究, 350,000 円, 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 城川美佳, 谷口千絵, 「他国出身女性を対象とした日本での妊娠・出産経験とヘルスリテラシーとの関連」, 学内助成 A, 519,605 円, 令和元年 5 月～令和 2 年 3 月

## 佐竹 弘行（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) N. Takenaga, T. Hayashi, S. Ueda, H. Satake, Y. Yamada, T. Kodama, T. Dohi, “Synthesis of Uracil-Iodonium(III) Salts for Practical Utilization as Nucleobase Synthetic Modules”, *Molecules*, **2019**, *24*, 3034

### 4 学会等での活動

- 1) 莊司俊貴, 校條貴之, 森田亜希, 佐竹弘行, 山田陽一, 武永尚子, 土肥寿文, 「酸触媒活性化による核酸塩基と芳香族求核種とのカップリング反応」, 日本薬学会第 140 年会
- 2) 林巧実, 上田祥平, 佐竹弘行, 山田陽一, 武永尚子, 土肥寿文, 「汎用性合成素子としての利用を目指した新規ウラシルーヨードニウム塩の合成とその利用」, 日本薬学会第 140 年会

### 6 学内教育活動

- 1) 化学概論（全学科対象, 前期, **科目責任者**）
- 2) 基礎有機化学①（栄養学科対象, 前期, **科目責任者**）
- 3) 基礎有機化学②（栄養学科以外の学科対象, 前期, **科目責任者**）
- 4) 基礎有機化学実験①（栄養学科対象, 前期, **科目責任者**）
- 5) 基礎有機化学実験②（栄養学科以外の学科対象, 前期集中, **科目責任者**）
- 6) 保健医療福祉論 I（全学科対象, 前期および前期集中, 現場訪問の事前事後指導等を担当）
- 7) 文献検索とクリティーク（社会福祉学科（A クラス）対象, 後期, クリティーク部分を担当）
- 8) 英語（保健医療福祉のための英語 II）①（看護学科（A クラス）対象, 後期, **科目責任者**）
- 9) 英語（保健医療福祉のための英語 II）②（看護学科（B クラス）対象, 後期, **科目責任者**）
- 10) 英語（保健医療福祉のための英語 II）⑥（リハビリテーション学科対象, 後期, **科目責任者**）
- 11) 物理学（全学科対象, 後期, **科目責任者**）
- 12) チューター会担当（新入生の大学生活の支援等）（通年）

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会（本学の入試に関する各種業務等）（通年）
- 2) 地域貢献研究センター地域貢献部門（**自己評価専門部会委員**担当, 本学の地域貢献に関する各種業務等）（通年）
- 3) 令和元年卒業式・修了式実行委員会（式場内誘導整理係）（2020 年 3 月）

## 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス（人間総合科の紹介の部屋担当）（2019年8月）
- 2) 高校生向け大学説明会（模擬授業担当）（2019年7月）
- 3) 高等学校等教職員向け入試説明会（2019年6月）

## 9 講演，放送

- 1) 佐竹弘行，「大環状化合物と蛍光性リガンドを併用する水中での高選択的な化学物質の新規簡易検出法に関する研究」，2019年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会，2019年7月

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 2019年度研究助成事業研究助成 B（奨励研究）佐竹弘行，津田学「水中における簡便な高選択的生体関連分子検出法の開発に関する研究」（372,605円）（2019年4月～2020年3月）

## 高橋 和子

### 1 著書

- 1) 高橋和子、日本薬学英语研究会（共著）「薬学生のための英語会話 パイロット版」、東京化学同人、2019

### 4 学会等での活動

- 1) 第 103 回アメリカ免疫学会発表「Anti-CD11b Antibody Treatment Suppresses the Disease Conditions in Rheumatoid Arthritis (RA)-prone Fc $\gamma$ RIIB-deficient Mice.」  
Takahashi K, Ohtsuji M, Lin Q, Okazaki H, Amano H, Yagita H, Nishimura H, Hirose S. (5月、サンディエゴ)

### 6 学内教育活動

- 1) 英会話 I (x4クラス。看護学科、栄養学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科)
- 2) 英語講読 (看護学科)
- 3) 保健医療福祉のための英語 I (栄養学科)
- 4) 保健医療福祉のための英語 II (x3クラス。栄養学科、社会福祉学科)
- 5) 免疫学 (栄養学科)
- 6) 保健医療福祉論 I
- 7) 横須賀米海軍病院見学プログラム

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働専門部会委員。学部・大学院生を対象とした横須賀米海軍病院見学プログラムを企画、実施 (9月、2月)
- 2) 英語担当教員責任者

### 8 社会貢献

- 1) 東京大学教養学部非常勤講師
- 2) 慶應義塾大学医学部英語非常勤講師

### 9 講演、放送

- 1) 桐蔭横浜大学「桐蔭医用工学国際シンポジウム 2019」(英語) 発表「Anti-CD11b Antibody Treatment Ameliorates the Disease Conditions in Rheumatoid Arthritis (RA)-prone Fc $\gamma$ RIIB-deficient Mice」Kazuko TAKAHASHI, Mareki OHTSUJI, Qingshun LIN, J. Sjef. VERBEEK, Hiroyuki NISHIMURA, Sachiko HIROSE. (11月、横浜)
- 2) 桐蔭横浜大学「桐蔭医用工学国際シンポジウム 2019」(英語) 発表「Aberrant Light-Induced Depression Is Associated with Impaired Sensorimotor Gating in Mice」Noriko Iida, Toshiaki Haga, Junichi Toei, Kenichi Mitsui, Mareki Ohtsuji,



Yo Koderu, Kazuko Takahashi, Hiroyuki Nishimura. (11 月、横浜)